

スマホを学ぼうかい



2020年8月31日(月)

ステイホームで注目されるミーティングアプリ

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため物理的距離を保つ必要からテレワークが推進されています。なかでも別々の場所にいるメンバーでインターネットを使ってビデオ会議を行うテレ・ミーティングが企業だけでなく、さまざまな団体の会議として利用されるようになりました。テレビ番組でもテレ・ミーティングのシステムを利用したのが見られます。テレ・ミーティングのためのアプリケーションソフトとしてまず注目されたのが Zoom です。これを追うように、skype、LINE、Messenger などが多人数でのテレ・ミーティング機能を強化しました。

8月31日のスマホを学ぼうかいでは、Zoom ができることを紹介しながら、なじみのある skyle、LINE、Massenger などがどう強化されたのかを見ていきます。

スマホでミーティングアプリを使うには

スマホでミーティングアプリを使うには、まず、それぞれのアプリを play ストア(Android の場合)、App ストア(iPhone の場合)の検索窓でアプリ名で検索し、目指すアプリをダウンロードし、インストールします。スマホは手のひらサイズのパソコンなのでパソコンと同じようにアプリをダウンロードし、インストールすることによって、機能を拡張することができます。しかも、多くのアプリは無料です。ただし、インストールするアプリは定評のあるものに限定しましょう。なお、ミーティングアプリはスマホだけでなくパソコンでも使えます。

【参考】ミーティングアプリの比較 (日経 PC21 2020年9月号 P.91 より)

ミーティングアプリの比較

	Zoomミーティング無料版	グーグルMeet無料版	マイクロソフトTeams無料版	LINEグループビデオ通話	Skype
アカウントの登録	主催者のみ	全員	全員	全員	主催者のみ
アプリのインストール	インストールを推奨	不要	必要	必要	インストールを推奨
音声・ビデオ会議	○	○	○	○	○
テキストチャット	○	○	○	○	○
画面共有	○	○	○	○	○
ホワイトボード	○	○	○	○	○
録画・録音	○	×	×	×	○
仮想背景	○	×	○	○	○
参加人数	100人	100人	250人	500人	50人
時間制限	40分(3人以上の場合[注])	60分(9月30日までは24時間)	なし	なし	なし
1画面に表示できる人数	49人	16人	9人	パソコン:16人 スマホ:6人	9人

◎ 図5 各アプリには一長一短がある。無料版が備える機能、時間制限、同時に表示できる人数、録画・録音機能など、多角的に比較して選ぶ。ただし、相手とのミーティングに使うものなので、自分の都合だけでは決められないこともある。相手がすでに使っているアプリを使えばスムーズに進むし、ミーティングにアプリが指定されているケースも多い [注]2人ならば時間制限なし

次回のスマホを学ぼうかいは、9月7日(月)午後1時～ mics おおた・多目的スペースで 開催します